

2019 年度

事業報告

社会福祉法人しろね福祉会

特別養護老人ホームしなの園
老人デイサービスセンターしなの園
老人介護支援センターしなの園

2019 年度事業報告

***** 目 次 *****

第1. 沿革史	1-2
第2. 総務部門	3
第3. 業務部門	
1. 医務の活動状況	4
2. 給食の活動状況	5
3. 機能訓練の活動状況	6
第4. 介護老人福祉施設事業	7-8
第5. 短期入所生活介護事業	9-10
第6. 通所介護事業	11-12
第7. 居宅介護支援事業	13-14
第8. 社会福祉法人しろね福祉会（管理運営部門）	
1. 理事会・評議員会の開催状況	15
2. 防災訓練実施状況	16
3. 研修参加の状況	17-18
4. 実習生受け入れ状況	19
5. 事故発生状況	19-21
6. ボランティア受入状況	21-22

第1. しなの園沿革史 (令和元年度)

月	日	動 き
4	1	辞令交付式(新規採用職員1名)、永年勤続表彰式(20年勤続4名)
	5	新潟県議会議員選挙・期日前投票 (3名)
	15	新規採用2名 (正職員1名、パート職員1名)
	15~19	DS加茂川鯉のぼりツアー
	16	イオン白根店様、黄色いレシート贈呈式出席
	20	白根ローターアクトクラブ様、花の苗植えボランティア
	21	庄瀬さくら祭り参加 (キッツエンジャー出演)
	24・26	特養：加茂川鯉のぼりドライブ
5	16	庄瀬小学校4年生交流 (5/16,25、6/4,24、7/4,23、9/12、10/21,27、11/1)
	25	庄瀬小学校運動会見学・参加 (特養・SS利用者参加)
	28	平成30年度事業・決算 監査
6	5	第1回理事会
	6・7・10	白根大風合戦観戦 (特養・SS・DS利用者参加)
	17	特養A班・完全配膳開始
	21	第2回理事会・第1回評議員会
	28	ピット下給湯管工事 (漏水あり)
7	1	特養利用者結核検診 (レントゲン車にて)
	7	肢体不自由児者父母の会主催 ミュージックケア
	11	白南中学・職場体験学習 (1名)
	18	第1回防災訓練
	19	参議院議員選挙・期日前投票 (3名)
	31~8/2	白根高校インターンシップ (4名)
8	8	サマーチャレンジボランティア (北越高校1名、白根高校1名)
	11	庄瀬農村公園祭り参加
	16・25・26	デザートバイキング (DS 26~31日)
9	2	新潟県新採用職員研修・施設体験研修 (2名)
	2~19	ナースコール工事
	16	敬老会 (感謝状授与、DSは9~13日まで敬老会実施)
	16	100歳お祝、南区長表敬訪問 (2名)
	17~20	LED導入工事 (廊下・特A・DS等)
	24	大型洗濯機・乾燥機入替工事
	29	しなの園まつり (雨天の為、正面玄関・屋内にて)
	30	介護老人福祉施設等集団指導
10	1	消費税増税に伴う食費値上げ
	1	衛生委員会 (産業医水戸部先生出席、職場環境視察及び指導)
	5	南区健康福祉フェア参加
	6	庄瀬地区防災訓練参加
	9	第1回南区家族介護者教室 (新潟市委託事業・花王様協力)

月	日	動 き
	20	DS ご利用者ご家族交流会 (フルーツ演奏ボランティア)
	25	第3回理事会
	27	庄瀬小学校文化祭見学
11	10	ボランティア交流会
	13	SS紅葉ドライブ (弥彦方面)
	18~22	DS紅葉ドライブ (石油の里・県立植物園)
	20	新潟市指導監査
	25・26	イベント食・握り寿司 (日清医療食品様協力)
12	5	第2回南区家族介護者教室 (新潟市委託事業・花王様協力)
	16	南区第2層白南・白根第一圏域 第1回「支え合いのしくみづくり会議」開催
	19~26	ピット下給湯管工事 (漏水あり補修等2回目工事)
	30・31	DS餅つき大会
1	17	消防立入検査
	26	第23回介護福祉士国家試験 (2名合格)
2	12	通所介護事業所集団指導参加
	13	居宅介護支援事業所集団指導参加
	23	庄瀬地区芸能際出席
	26	特別感染症委員会 (新型コロナウイルス対策について)
3	13	水害想定訓練 (図上訓練)
	19	第2回防災訓練 (夜間想定)
	22	(日清様企画) 「みんなの日曜日・お出かけランチ」 (吉野家牛丼提供)
	25	第4回理事会
<p>○4/1~ 通所介護事業、土日営業中止</p> <p>○パソコン・サーバー故障 (12/13)・・・サーバー入替、パソコン一部入替、Window10へリカバリ等対応する。</p> <p>○ニラク様よりお菓子の寄贈</p> <p>【新型コロナウイルス対策】</p> <p>2/26 特別感染症委員会招集</p> <p>2/27~面会制限、職員検温後出勤、DS・SS利用者送迎時検温、業者立ち入り制限等 開始</p> <p>3/3 第2回特別感染症委員会 (マスク等の対応について検討)</p> <p>4/10 第3回特別感染症委員会 (7都府県に緊急事態宣言発出、新たな取り組みについて検討)</p> <p>4/17 第4回特別感染症委員会 (緊急事態宣言全国に拡大、対策強化、陽性者、濃厚接触者発生時の対応等検討)</p> <p>*2月以降、外部研修・会議等ほぼ中止</p>		

第2. 総務部門

1. 総務部門の活動状況

□ リスクマネジメント

- ・利用者賠償及び業務災害保険について、補償内容の再確認を行い契約更新した。
- ・自然災害等に備え、防災用品の購入、備蓄品の点検を行った。
- ・業務中の職員転倒事故が発生し、労災保険対応の手続きと環境整備に努めた。
- ・新型コロナウイルス流行により不足するマスク、アルコール等の必要物品の調達を行った。

□ 法令遵守

- ・消費税増税に伴う介護報酬改定により、各種規程を見直し、変更した。
- ・労基法改正により、定期的に有給休暇取得状況を確認し、対象職員全員が年5日以上の有給休暇取得ができた。

□ 人財の確保・定着

(入退職状況)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
採用	2(1)	1(2)	—	0(1)	—	1(1)	4(5)
退職	1(1)	—	1(1)	0(1)	—	0(2)	2(5)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
採用	—	—	—	—	0(1)	—	0(1)
退職	—	1(0)	—	1(0)	—	2(0)	4(0)

※カッコ内は、パート・嘱託

- ・上半期採用は、機能訓練指導員1名、看護師1名、介護3名（内パート1名）、嘱託4名。
- ・下半期採用は、介護（パート）1名のみ。その他、派遣契約3名。

※下半期退職者のうち、1名は定年退職。

- ・2019年度年休取得率：59.9%（平均付与日数：17日、平均取得日数：10日）
（前年度比：+20.9%）

□ 経費節減

- ・昨年度から増加傾向にあったガス・水道代について、ボイラー配管の漏水が見つかり、修繕を行った。
- ・ナースコールシステムおよび大型洗濯機入れ換え、照明器具のLED化など、大規模改修を消費税増税前に行った。
ナースコールについては職員の負担軽減につながり、大型洗濯機の入替えとLED照明に変更することにより、水道光熱費の大幅削減が見込まれる。
- ・コロナウイルスによりマスク、アルコール等の価格が高騰したが購入せざるを得なく、予想外の経費負担となった。

第3. 業務部門

1. 医務の活動状況

□利用者の処遇向上

- ・重点目標を挙げ、医務職員の意識向上に励んだ。
- ・体調不良者の感染対策、安静度を多職種で情報共有し対応を定めた。
- ・個別の要望に合わせ、相談、対応を行った。

□リスクマネジメント

- ・感染予防対策の基本として、標準予防策（スタンダード・プレコーション）の浸透を図るため、定期研修会等で研修を行った。
- ・感染症委員会と連携し、施設内でのインフルエンザ・ノロウイルス等の発症予防に取り組んだ。流行時期に合わせ、面会制限等の対応を行うことで罹患を防止することができた。
- ・特養利用者と職員に対して、インフルエンザ予防接種を実施した。また、該当者に肺炎球菌ワクチン予防接種を実施した。
- ・感染症等のマニュアルについて、随時見直しを行った。
- ・新型コロナウイルス対策について保健所や県の発表情報を元にできる範囲で厳重に行った。

□職員の技術・知識の向上

- ・園内研修に参加し医務ミーティングで復命を行った。
- ・定期研修会で、（留置カテーテルの取り扱いについて、糖尿病について）の研修を行った。
- ・介護職員対象に、毎月痰吸引の研修を行った。

□地域交流と貢献

- ・利用者・家族及び近隣地域に対して、感染症（インフルエンザ、ノロウイルス）予防などの情報発信を行った。

【その他】

- ・入院者数及び延べ日数 17名、611日（前年度 19名、182日）
- ・胸部X線検査（結核検診）検診車 74名、白根総合病院 6名
- ・肺炎球菌ワクチン接種 12名
- ・インフルエンザ予防接種 特養利用者 74名、職員 86名
- ・配置医師緊急時対応加算実績
 - 早朝・夜間・・・2件（650単位/回）
 - 深夜・・・11件（1,300単位/回）
- ・夜間待機番対応回数
 - オンコール対応・・・38回（前年32回）
 - 出勤対応・・・17回（ショートステイ1回）（前年12回）

2. 給食の活動状況

□利用者の処遇向上

- ・ケアプランに基づいた、適正な栄養ケアマネジメントの継続を行った。
- ・多職種と情報共有し、低栄養状態の改善・褥瘡予防・健康状態の維持に向け取り組んだ。
- ・経口摂取支援のカンファレンスに参加し、自分の口から食べる楽しみを継続できるよう多職種で支援を行った。
- ・病院の管理栄養士と連携し、再入所後も適正な栄養管理が継続できるよう努めた。
- ・多職種や委託業者と情報共有・意見交換を行い利用者への食事サービスの向上に努めた。
- ・献立に対しての意見や要望を汲み取るため、各ユニットの「給食ノート」を活用し、集まった意見をもとに検討を行った。
- ・喜ばれる食事提供：コンセプトメニュー 1回
その他各種行事食
- ・給食委員会主催イベント：デザートバイキング〔特養 8/25・26、SS 8/16、DS 8/26-31〕
握り寿司〔11/25・26〕

□リスクマネジメント

- ・内部研修講師：「食中毒について」
- ・外部研修参加：「栄養・衛生管理指導会」「バザーに係る食品衛生講習会」
- ・災害備蓄品、保存水の保管管理を行った。
- ・委託業者と協議し非常食の内容変更を行った。
- ・食事に異物混入があり、委託業者に再発防止を要請した。

【参考】

食事形態別食数（単位：食）

月	特養							SS					DS				
	常菜	刻み 極刻み	ムース 汁付	経口 流動	経管 流動他	合計	1日 平均	常菜	刻み 極刻み	ムース 汁付	合計	1日 平均	常菜	刻み 極刻み	ムース 汁付	合計	1日 平均
4月	2,372	2,768	1,019	0	630	6,789	226	651	142	84	877	29	443	44	0	487	22
5月	2,538	2,773	929	0	651	6,891	222	765	139	88	992	32	475	41	0	516	22
6月	2,569	2,527	900	0	680	6,676	223	802	148	85	1,035	35	422	34	0	456	23
7月	2,613	2,573	1,105	0	744	7,035	227	595	223	10	828	27	487	48	0	535	23
8月	2,674	2,558	1,139	0	744	7,115	230	583	209	0	792	26	461	46	0	507	23
9月	2,517	2,396	885	0	698	6,496	217	596	98	0	694	23	468	47	0	515	25
10月	2,672	2,477	967	0	809	6,925	223	570	80	0	650	21	505	41	0	546	24
11月	2,644	2,372	900	0	810	6,726	224	674	74	0	748	25	447	30	0	477	23
12月	2,711	2,352	992	0	756	6,811	220	671	38	0	709	23	460	24	0	484	22
1月	2,544	2,292	1,158	0	744	6,738	217	651	39	0	690	22	431	14	0	445	21
2月	2,321	2,360	1,008	6	696	6,391	220	883	59	0	942	32	407	12	0	419	21
3月	2,498	2,547	1,012	46	744	6,847	221	791	83	0	874	28	445	17	0	462	21
合計	30,673	29,995	12,014	52	8,706	81,440		8,232	1,332	267	9,831		5,451	398	0	5,849	
月平均	2,556	2,500	1,001	4	726	6,787		686	111	22	819		454	33	0	487	
1日平均	84	82	33	0	24	223		22	4	1	27		21	2	0	22	

3. 機能訓練の活動状況

□利用者の処遇改善

- ・個別機能訓練加算（I）については、加算の内容について確認し検討したが、算定用件の面で運用が難しい部分があった。
- ・利用者個々の身体状況や状態変化に合わせて生活リハビリ・個別訓練の内容を模索し、実施することができた。
- ・多職種との意見交換を積極的に行ったことでスムーズな連携がとれた。
- ・ショートステイでは、個々のニーズに合わせた個別訓練を行うことができた。

□リスクマネジメント

- ・ミーティングや特養連絡会議の場などでリハビリの手順・目的を発信し周知徹底することができた。
- ・利用者の身体的な変化があった時にケアマネを中心に多職種と連携を図り、リスクの共有を図ることができた。

□職員の技術・知識の向上

- ・園内研修や外部研修に参加し知識・技術の向上を図った。また、園内研修の講師を行い、多職種の技術・知識の向上を図ることができた。
- ・ショートステイミーティングに参加し、訓練状況の報告や多職種からの相談に対する助言を行い知識・技術の共有を図ることができた。

□地域交流と貢献

- ・庄瀬農村公園祭りやしなの園祭りに参加し地域の人との交流を図った。

【参考】

特養個別訓練実施率：約 85.8%

$$24,195 \text{ (特養訓練実施者数)} / 28,214 \text{ (特養利用者数)}$$

ショートステイでは、個別を含めた全利用者対象として機能訓練加算算定。

2019年度

	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	人数	延べ人員	延べ人員	延べ人員	延べ人員	延べ人員	延べ人員	延べ人員	延べ人員	延べ人員	延べ人員	延べ人員	延べ人員
特養	特養A(なし班)	573	602	527	607	577	546	571	546	620	600	586	584
	特養A(ぶどう班)	705	755	741	803	794	765	806	750	645	632	607	678
	特養B(りんご班)	703	748	696	724	743	572	709	696	761	782	703	738
	合計	1981	2105	1964	2134	2114	1883	2086	1992	2026	2014	1896	2000
SS	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	人数	延べ人員	延べ人員	延べ人員	延べ人員	延べ人員	延べ人員	延べ人員	延べ人員	延べ人員	延べ人員	延べ人員	延べ人員
	個別	0	0	4	2	3	2	4	11	16	6	19	18

第4. 介護老人福祉施設事業

1. 2019年度重点実施事項

□利用者の処遇向上

- ・排泄臭等に必要な物品を購入し臭気対策できたが、居室内の整理整頓が行き届かない部分があった。
- ・利用者の状態や生活ニーズに合わせた居室編成、介護用ベッドを活用し環境整備が行えた。
- ・利用者の生活リズムを整えるための個別ケアの実施、生活の様子が不安定な方の行動を終日記録し対応策の見直しが随時行えた。
- ・経口カンファレンスにおいて対象者以外の方も情報共有し随時食事支援の見直しが行えた。

□リスクマネジメント

- ・骨折事故1件、介護事故（ケガのない事故含め）計77件あり。ヒヤリハット報告の活用、SHELL分析による多面的な視点から、事前の危険予測が行えるようになってきた。
- ・意見、要望、苦情、計5件あり。共通していえることは、家族の立場になって考えていく配慮が足りなかった。
- ・利用者が終末期における家族に対し、多職種で接することができ、退所後に家族から感謝の言葉が多く聞かれた。

□職員の技術・知識の向上

- ・利用者に対して、職員がリスク防止を優先することによって起こり得る不適切なケアの防止に努め、随時カンファレンスを実施し、根拠に基づくケア内容を多職種で共有できた。
- ・職員間での気づきにムラがあり職員育成に課題が残るも、職員全体が指示を出せる業務に従事できるよう底上げできた。

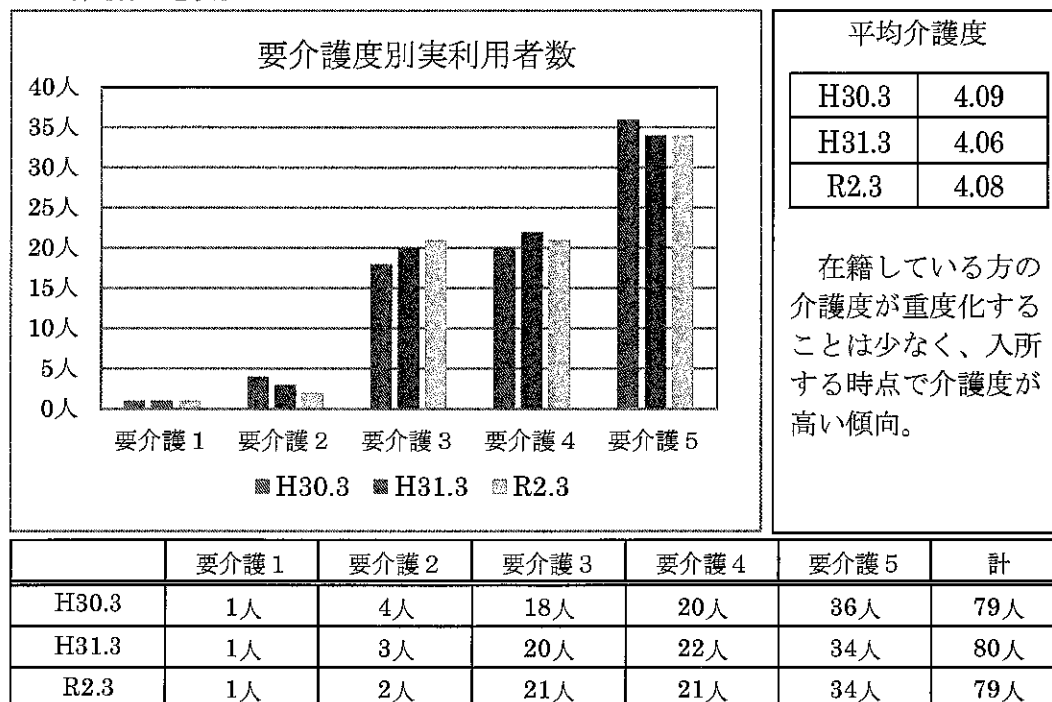
□地域交流と貢献

- ・終末期における自宅外出を実施し、利用者と家族の思い出を作ることができた。
- ・介護実習3名、体験実習5名、相談援助実習2名を受け入れ、施設行事に参加してもらう等、福祉の仕事に興味を持つ機会を作れた。

□稼働率の維持・向上

- ・目標稼働率98% → 実稼働率96.5%。（利用実績、入退所状況参照）
- ・経口維持加算13名算定、再入所時栄養連携加算等、多職種で加算算定に取り組めた。
- ・利用者の状態変化に応じて随時要介護度の見直しを行い、介護報酬の増加につなげた。

2. 業務実施状況



【利用実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ人数	2,371	2,419	2,331	2,423	2,465	2,327	2,428	2,384	2,320	2,304	2,176	2,321	28,269
稼働率	98.8%	97.5%	97.1%	97.7%	99.4%	97.0%	97.9%	99.3%	93.5%	92.9%	93.8%	93.6%	96.5%

【入退所状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所	1人	1人	2人	2人	2人	1人	3人	2人	1人	3人	1人	3人	22人
退所	2人	1人	3人	1人		3人	3人	5人	1人	2人	1人	3人	25人

退所者数 25 名（前年 19 名）、入院者数 17 名（前年 11 名）、長期入院が増加した。

【入所申込み状況】

	新潟市	燕市	五泉市	田上町	その他	合計
平成29年度	236人	0人	0人	32人	0人	268人
平成30年度	263人	0人	1人	44人	0人	308人
令和1年度	116人	1人	1人	45人	0人	163人

入所申込数が減少した背景に、平成 29 年 3 月迄の入所申込者に現況調査を郵送で実施する。

第5. 短期入所生活介護事業

1. 2019年度重点実施事項

□利用者の処遇向上

- ・モニタリング担当者を中心に、ミーティング等を活用して情報共有を行い、短期入所サービス計画書を意識した対応の検討や統一を図ることができた。また、対応については定期的に振り返りを行うことができた。
- ・回数を増やすことはできなかったものの、地域行事への参加や花見・紅葉狩りなどの季節に合わせた行事を企画し、実施できた。
- ・季節に合わせた作品作りに、利用者が意欲的に参加し、楽しむことができるよう工夫しながら実施できた。
- ・機能訓練指導員と連携して希望のある方には、利用者の身体状態に合わせた生活リハビリが実施できた。
- ・体操教室は実施状況にばらつきがあり、行えない日もあった。

□リスクマネジメント

- ・骨折事故2件、転倒による頭部裂傷事故1件、介護リフト使用時の転倒事故1件と、大きな事故が4件あった。当たり前のことであっても職員同士で声を出し合い、再確認しながら支援に当たることをチームで意識づけていく必要あり。事故後の要因分析や対策については、ミーティングを活用して迅速に行えた。
- ・意見要望については真摯に受け止め、職員間で共有し、対策を検討して再発防止に努めた。
- ・人員不足の中、状況の変化に合わせてシフト変更や業務分担を行い、安定したサービス提供が行えた。

□職員の技術・知識の向上

- ・接遇を意識して丁寧な対応に努めているが、業務が集中している時間帯や利用者の状況により、ゆとりのない対応となることがあった。
- ・内・外部研修に積極的に参加し、復命が行えた。研修の参加により少しずつチームの意識は高まってきている。
- ・チームで介護リフトやスライドボードの使用方法を習得できた。
- ・医療知識について看護師と連携を図り、学習する機会を設けることができた。

□稼働率の維持・向上

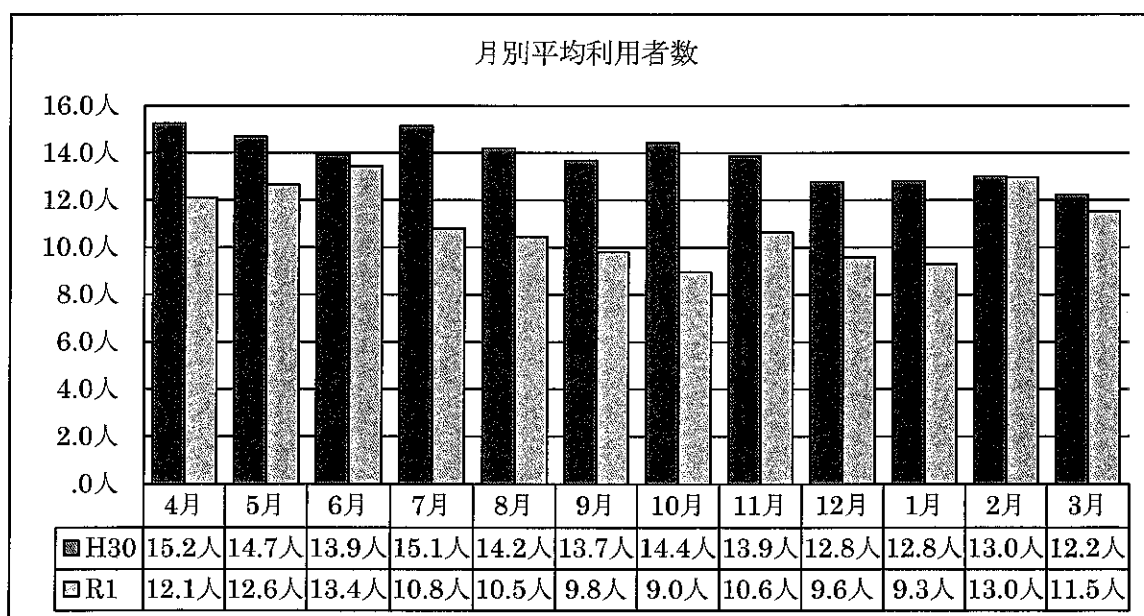
- ・目標稼働率80% → 実績稼働率55.0% (1日平均人数11.0名)
- ・定期利用者の特養入所、老健入所、入院などで稼働率が大幅に減少した。
- ・南区、西蒲区、秋葉区、田上町、加茂市の居宅介護支援事業所へ空室情報を持参したり、FAXにて送付し、問い合わせや新規利用者は増えているが、空きを埋められていない。
- ・人員不足の中、緊急入所や入退所者が多い時も臨機応変に対応できた。
- ・新規利用者等、利用者一人ひとりの要望や状況、状態に合わせた柔軟な対応が行えた。

2. 業務実施状況

【利用実績】

	令和1年度 利用内訳					令和1年度	平成30年度
	利用人数	延べ人数	1日平均	新規利用者	送迎件数	稼働率	稼働率
4月	40人	363人	12.1人	3人	199件	60.5%	76.2%
5月	38人	392人	12.6人	1人	182件	63.2%	73.4%
6月	35人	403人	13.4人	1人	177件	67.2%	69.5%
7月	36人	335人	10.8人	1人	172件	54.0%	75.6%
8月	33人	324人	10.5人	5人	174件	52.3%	71.0%
9月	36人	294人	9.8人	5人	187件	49.0%	68.3%
10月	33人	278人	9.0人	2人	180件	44.8%	72.1%
11月	39人	319人	10.6人	7人	194件	53.2%	69.3%
12月	34人	297人	9.6人	1人	177件	47.9%	63.9%
1月	31人	288人	9.3人	4人	166件	46.5%	64.0%
2月	37人	376人	13.0人	5人	175件	64.8%	65.0%
3月	33人	357人	11.5人	2人	194件	57.6%	61.1%
合計	425人	4,026人	-	37人	2,177件	-	-
平均	35人	336人	11.0人	3人	181件	55.0%	69.1%

【月別平均利用者数】



【要介護度別実利用者数】

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
平成31年3月	0人	1人	6人	14人	8人	8人	2人	39人
	0%	3%	15%	36%	21%	21%	5%	100%
令和1年3月	0人	1人	4人	13人	11人	3人	1人	33人
	0%	3%	12%	39%	33%	9%	3%	100%

第6. 通所介護事業

1. 2019年度重点実施事項

□利用者の処遇向上

- ・昨年度に引き続き連絡会議、介護ミーティングの定期開催を継続。結果、職種間の問題解消や利用者のケア向上、情報共有など事業全体の問題について検討することができた。
- ・平日の営業のみとなり、職員が毎日出勤できる固定勤務になったため、利用者の情報共有がしやすくなり、経過を追いながら支援ができた。

□リスクマネジメント

- ・送迎時アシスタント業務に就く看護職員に対し、外での車椅子介助勉強会を行った。また運転手やアシスタント同士で送迎方法や送迎ルートについて情報共有し、統一した。
- ・年間を通して介護事故による報告は少なかったが、ヒヤリハット件数も少なく、リスクマネジメントに対する意識の低下がみられた。

□職員の技術・知識の向上

- ・看護職員より、既存の利用者や新規利用者などの基礎疾患によるリスクについて、助言をもらう機会を増やした。それにより予備知識の向上や利用者の対応について、デイ全体で検討することができた。
- ・看護職、介護職の業務の幅を広げることにより、それぞれの視点から業務改善案や利用者対応についての相談や助言、検討する機会が増えた。

□地域交流と貢献

- ・通所型基準緩和サービスについては年間計画を立て、毎月ほぼ計画通りにサービスを実行できた。
- ・10月に「ご利用者、ご家族交流会（保険外サービス）」を実行。参加者は少なかったが施設案内や事業の理解、利用者家族と職員の有意義な交流ができた。

□稼働率の維持・向上

- ・通所目標稼働率 80% → 実績稼働率 86.7% (1日平均人数 21.7人)
- ・通所型基準緩和目標稼働率 60% → 実績稼働率 32.6% (1日平均人数 1.6人)
- ・通所介護は土日を休業としたため、平日に利用が集約され稼働率の増加に繋がった。しかし、新規契約も含め軽度利用者が多く、収益アップには繋がらなかった。また、通所型基準緩和は新規契約が2件と少なく、昨年度よりも稼働率が下回った。
- ・入院者の利用者登録は据え置き2ヶ月とした。上期はほぼ入院者がいなかったが、下期については例年通り入院者増加。据え置き2ヶ月と定めたが、家族や本人のニーズに合わせて担当ケアマネと調整した。

通所介護・介護予防通所介護相当

	実利用数	通所延べ利用者数	予防延べ利用者数	稼働日数	1日平均	新規利用		稼働率	
						R1年度	H30年度	R1年度	H30年度
4月	66人	384人	94人	22	21.7人	0人	6人	86.9%	72.0%
5月	63人	406人	93人	23	21.7人	2人	1人	86.8%	76.4%
6月	61人	358人	81人	20	22.0人	1人	2人	87.8%	78.8%
7月	63人	420人	102人	23	22.7人	1人	1人	90.8%	82.3%
8月	62人	417人	83人	22	22.7人	1人	2人	90.9%	84.4%
9月	62人	423人	80人	21	24.0人	0人	1人	95.8%	76.3%
10月	61人	435人	94人	23	23.0人	0人	3人	92.0%	75.1%
11月	62人	386人	79人	21	22.1人	1人	4人	88.6%	80.0%
12月	60人	401人	66人	22	21.2人	3人	1人	84.9%	82.7%
1月	58人	364人	64人	23	18.6人	1人	0人	74.4%	75.5%
2月	54人	331人	68人	20	20.0人	1人	0人	79.8%	75.1%
3月	57人	377人	71人	22	20.4人	1人	1人	81.5%	71.2%
合計	729人	4,702人	975人	262	21.7人	12人	22人	86.7%	77.5%

要介護度別実利用者数

	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
平成31年3月	8人	4人	11人	18人	18人	11人	3人	5人	78人
	10%	5%	14%	23%	23%	14%	4%	6%	100%
令和2年3月	6人	3人	11人	14人	21人	8人	1人	1人	65人
	9%	5%	17%	22%	32%	12%	2%	2%	100%

通所型基準緩和サービス

	実利用数	延べ利用者数	稼働日数	1日平均	新規利用		稼働率	
					R1年度	H30年度	R1年度	H30年度
4月	10人	38人	22	1.7人	1人	0人	34.5%	25.0%
5月	10人	39人	23	1.7人	0人	0人	33.9%	30.4%
6月	10人	33人	20	1.7人	0人	0人	33.0%	30.5%
7月	9人	37人	23	1.6人	0人	2人	32.2%	33.6%
8月	8人	24人	22	1.1人	0人	1人	21.8%	36.5%
9月	9人	33人	21	1.6人	1人	1人	31.4%	40.0%
10月	10人	46人	23	2.0人	0人	1人	40.0%	42.6%
11月	11人	40人	21	1.9人	0人	0人	38.1%	40.9%
12月	11人	42人	22	1.9人	0人	0人	38.2%	43.8%
1月	10人	33人	23	1.4人	0人	0人	28.7%	34.8%
2月	9人	33人	20	1.7人	0人	0人	33.0%	48.0%
3月	8人	29人	22	1.3人	0人	0人	26.4%	43.8%
合計	115人	427人	262	1.6人	2人	5人	32.6%	37.5%

第7. 居宅介護支援事業

1. 2019年度重点実施事項

□利用者の処遇向上

- ・本人の「できること」「したいこと」を生活目標に掲げて自立支援を行った。
「困り事」に関しても、それを解決しどのように過ごしたいのかを掘り下げ、サービス担当者とは共有し、「生活」の視点で支援が行うことができた。
- ・部署内でケース検討を行う際は、今後の見通しや予測を立て共有した。起こり得る状況に対して予め様々な対策を検討したことで、落ち着いて支援することができた。また、担当者が不在の場合もスムーズに対応が行えた。

□リスクマネジメント

- ・業務マニュアルについて、役割分担、緊急連絡体制、相談受付手順書の見直しと作成を行った。
- ・ケアマネジメント業務に対する苦情1件あり。ケアマネジメントプロセスや相談対応について再確認し、再発予防を図った。
- ・利用者の意見や思いは真摯に受け止め、必要に応じサービス担当者と共に対策を検討した。
- ・世帯状況や経済状況等、困難事例に対しては、各専門職や担当者と連携し、適宜ケース検討会を開催しながら適切に対応できた。

□職員の技術・知識の向上

- ・研修参加は計画通りに実施でき、利用者の自立支援、ケアマネジメントに繋げることができた。
- ・各職員が、研修開催や事例研究会の司会、法定研修のファシリテーターを務め、実践を通して企画力やファシリテーション力、指導力を身につけることができた。

□地域交流と貢献

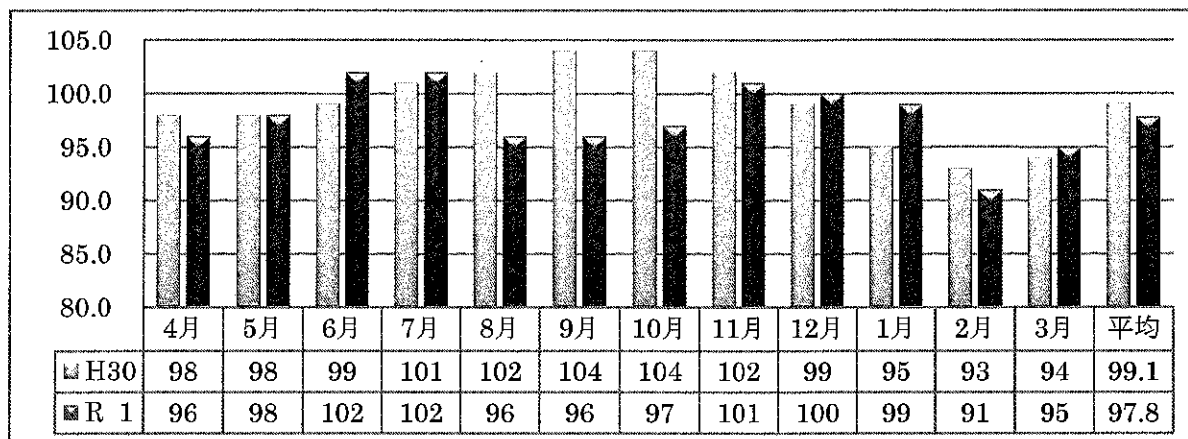
- ・南区居宅連絡会の活動、各種会議の参加を通し、障がい福祉や医療、行政など各関係者との連携を深め、地域における課題について共に検討する機会を持つことができた。
- ・ケアマネジメントにおいても、フォーマルサービスの活用だけではなく、家族や近隣住民、馴染みの店など、これまでの繋がりが継続できるように支援を行った。
- ・介護支援専門員実務研修の受け入れを行い、地域における人材育成に携わることができた。

□稼働率の向上

- ・目標レセプト件数 105件/月 → 実績 97.8件/月 (解約者 28件、新規利用者 30件)
- ・例年に比べ、新規利用者の受託も多かったが、解約者数も多く、伸び悩んだ。特に、7~9月は、本人死亡による解約、入院者が多数あった。
- ・2020年度の職員体制縮小が決定した1月以降は、新規受託を中断した為、実績件数に大きく影響した。
- ・介護度別利用者数、地域別利用者数は昨年度と大きく変わりはないが、相談経路は家族からの直接相談が増加した。地域の相談窓口として今後も柔軟に対応したい。

2. 業務実施状況

【実績件数】



(その他)

・認定調査件数 R1年度 97件/年 (H30年度 73件/年、H29年度 103件/年)

【介護度別利用者状況 (件数)】

	事業対象者	要支援1・2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
H31年3月	3(3%)	21(22%)	21(22%)	27(29%)	8(9%)	9(10%)	5(5%)	94
R 1年3月	2(2%)	21(22%)	22(23%)	33(35%)	10(11%)	4(4%)	3(3%)	95

【地域別利用者状況 (件数)】

	新飯田	茨曾根	庄瀬	小林	町部	白井・白根北	味方・月潟	区外	計
H31年3月	21(22%)	15(16%)	44(47%)	3(3%)	7(8%)	2(2%)	1(1%)	1(1%)	94
R 1年3月	20(21%)	16(17%)	45(48%)	4(4%)	7(7%)	1(1%)	1(1%)	1(1%)	95

【新規利用者相談経路 (件数)】

	本人	家族	地域包括支援センター	医療機関	他機関	計
H30年度	2(8%)	5(21%)	14(59%)	1(4%)	2(8%)	24
R 1年度	2(7%)	12(40%)	8(26%)	6(20%)	2(7%)	30

第8. 社会福祉法人しろね福祉会（管理運営部門）

1. 理事会、評議員会の開催状況

区分	日時・会場	事 項
第1回 理事会	令和元年6月5日(水) 午後1時30分～ しなの園 ボランティアステーション	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成30年度事業報告について 2. 平成30年度収支決算報告について ***** 監査報告 ***** 3. 令和元年度社会福祉充実計画について 4. 令和元年度第1回評議員会の招集について
第1回 評議員会	令和元年6月21日(金) 午後2時30分～ しなの園 ボランティアステーション	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成30年度事業報告について 2. 平成30年度収支決算報告について ***** 監査報告 ***** 3. 令和元年度社会福祉充実計画について 4. 理事及び監事の選任について
第2回 理事会	令和元年6月21日(金) 午後4時～ しなの園 ボランティアステーション	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉法人しろね福祉会理事長選出について
第3回 理事会	令和元年10月25日(金) 午後1時30分～ しなの園 ボランティアステーション	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和元年度上半期事業報告について 2. 介護老人福祉施設運営規程の一部改正（案）について 3. 短期入所生活介護及び介護予防短期入所生活介護運営規程の一部改正（案）について 4. 通所介護及び介護予防通所介護相当サービス運営規程の一部改正（案）について 5. 通所型基準緩和サービス運営規程の一部改正（案）について 6. 給与規程の一部改正（案）について 7. 特別養護老人ホーム規則の一部改正（案）について 8. 設備修改善のための積立金の取り崩しについて
第4回 理事会	令和2年3月25日(水) 午後1時30分～ しなの園 ボランティアステーション	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和元年度第一次補正予算（案）について 2. 令和2年度事業計画（案）について 3. 令和2年度収支予算（案）について 4. 通所型基準緩和サービス運営規程の廃止（案）について 5. 通所介護及び介護予防通所介護相当サービス運営規程の一部改正（案）について 6. 居宅介護支援運営規程の全部改正（案）について

2. 防災訓練実施状況

区 分	第 1 回	第 2 回
訓練の区分	消防計画に基づく総合訓練（昼間）	同 左（夜間想定）
実施の日時	令和1年7月18日（木） 14時00分～15時15分	令和2年3月19日（木） 14時00分～14時20分
実施の場所	調理室からの出火を想定し、正面玄関に避難	夜間洗濯室からの出火を想定し、ボランティアステーションに避難
訓練参加者	職員（25名） 利用者（44名）	職員（13名） 利用者（3名）
避難訓練内容	①火災受信機により火災発生区域の確認 ②消防署への119番通報 ③施設内への避難放送 ④利用者の避難誘導 ⑤補助消火栓を使用し、初期消火 AEDを操作して一次救命訓練	①火災受信機により火災発生区域の確認 ②消防署への119番通報 ③施設内への避難放送 ④利用者の避難誘導 ⑤反省と消防機器についての学習
講評・反省等	<ul style="list-style-type: none"> ・避難誘導は役割が決まっていたのでスムーズに避難できたと思う。 ・園内の放送が途切れることがあり、聞きづらいことがあった。 ・職員の声かけが少なかつたと思う。 ・通報訓練はあわてないでできた。 ・放水訓練、AED訓練については、実際の操作方法も学べたのでよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間想定ということで、夜間の少人数での避難、利用者も寝ている状況での避難は、想像しているより困難なことがあるのだと思う。 ・その時々リーダーの役割、指示を明確に出す重要性を認識した。 ・通報は落ち着いて行わなければならない。 ・消防機器については、知識を得ることができた。
その他 (防災訓練)	<ul style="list-style-type: none"> ・消防設備業者の指導のもと、補助消火栓の取扱方法説明と実際に消火栓を使用しての放水訓練を実施 ・AED操作については、看護職員（応急手当普及員講習受講者）指導のもと実施 	<ul style="list-style-type: none"> *コロナウィルス感染防止対策中でもあり、原則利用者の参加はせず、車椅子のみ動かし、避難をする形にした。 ・防災機器の業者（電通プランナー様）担当者に同席してもらい、質問に答えていただいた。

（水害時避難訓練）

令和2年3月13日（金）14:30～15:00 図上訓練を実施
出席者：理事長・幹部会議メンバー（10名）

（その他）

令和1年10月6日（日）10:00～庄瀬地区防災訓練参加

3. 研修参加の状況

【外部研修】

	研修名	研修期間						参加人数	日数	延べ人数
		年	月	日	～	月	日			
1	新潟県老人福祉施設協議会総会・管理者研修会	1	5	29				1	1	1
2	老施協第2ブロック第1回研修会		6	3				4	1	4
3	フィジカルアセスメント研修会		6	7				1	1	1
4	新潟市在宅医療ネットワーク情報交換会		6	9				1	1	1
5	認知症介護実践者研修		6	17	～	6	19	1	3	3
6	ファシリテーター養成研修		6	20				1	1	1
7	福祉サービスに関する苦情受付担当者等研修		6	26				2	1	2
8	新潟県経営協総会・研修会		6	27				1	1	1
9	認知症介護実践者研修		6	27	～	6	28	1	2	2
10	接遇研修（初任者コース）		7	4				1	1	1
11	給食施設（衛生管理）指導会		7	4				1	1	1
12	認知症ケア・対応研修		7	9				1	1	1
13	記録の書き方研修		7	10				1	1	1
14	南区成年後見制度勉強会		7	18				1	1	1
15	接遇研修（リーダーコース）		7	25				2	1	2
16	認知症介護実践者研修（中間報告会）		7	25				1	1	1
17	社会福祉職員スタートアップ研修		8	1	～	8	2	1	2	2
18	気づく力研修		8	22				3	1	3
19	認知症介護実践者研修（成果報告会）		8	22				1	1	1
20	スーパービジョン研修		8	30				1	1	1
21	在宅医療推進のための多職種連携研修		8	31				3	1	3
22	新潟県経営協前期セミナー		9	2				1	1	1
23	認知症介護実践リーダー研修		9	2	～	9	3	1	2	2
24	福祉職員キャリアパス対応研修（中堅職員コース）		9	3	～	9	4	1	2	2
25	認知症介護実践リーダー研修		9	5	～	9	6	1	2	2
26	気づく力研修		9	10				2	1	2
27	新潟県老人福祉施設協議会・研究大会		9	10	～	9	11	2	2	4
28	認知症介護実践リーダー研修		9	10	～	9	12	1	3	3
29	南区3包括主催事例研究学習会		9	13				3	1	3
30	アクティビティ・ケア研修		9	18				2	1	2
31	給食施設（栄養管理）指導会		9	20				1	1	1
32	新潟県高齢者の栄養と摂食を支える会研修		9	28				1	1	1
33	認知症介護実践リーダー研修（中間報告会）		10	1				1	1	1
34	新潟市キャラバンメイトフォローアップ研修		10	11				1	1	1
35	伝える力研修		10	16				1	1	1
36	コーチング研修		10	17				1	1	1
37	老施協第2ブロック第2回研修会		10	21				1	1	1
38	認知症ケア・対応研修		10	23				2	1	2
39	介護支援専門員実務研修実習指導者事前研修		10	24				1	1	1
40	認知症介護実践リーダー研修（成果報告会）		10	24				1	1	1
41	新潟市居宅介護支援事業所連絡協議会研修会		10	30				2	1	2
42	認知症介護実践者研修		11	1				1	1	1

	研 修 名	研修期間					参加 人数	日数	延べ 人数	
		年	月	日	～	月				日
43	認知症介護実践者研修		11	5			1	1	1	
44	福祉職員キャリアパス対応研修（チームリーダーコース）		11	6	～	11	7	1	2	2
45	結核・感染症研修会		11	6			1	1	1	
46	働き方改革推進シンポジウム		11	7			1	1	1	
47	認知症介護実践者研修		11	7	～	11	8	1	2	2
48	対人援助職のためのファシリテーション研修		11	12			1	1	1	
49	老施協第1ブロック研修		11	22			1	1	1	
50	認知症介護実践者研修（中間報告会）		12	3			1	1	1	
51	介護支援専門員更新研修		12	4	～	12	6	1	3	3
52	モチベーションアップ研修		12	11			2	1	2	
53	看取りケア研修		12	18			1	1	1	
54	介護支援専門員更新研修		12	18	～	12	19	1	2	2
55	口腔ケア研修		12	23			1	1	1	
56	新潟市認定調査従事者研修		12	25			2	1	2	
57	認知症介護実践者研修（成果報告会）		12	26			1	1	1	
58	新潟市認定調査従事者研修		12	27			3	1	3	
59	認知症介護実践者研修・総括講座	2	1	10			1	1	1	
60	みなふく・居宅連絡会合同研修会		1	15			7	1	7	
61	老施協・災害対応研修		2	3			1	1	1	
62	助け合いフォーラム		2	8			1	1	1	
							88	77	104	

【内部研修】

	研 修 名	研修期間					参加 人数	日数	延べ 人数
		年	月	日	～	月			
1	倫理・プライバシー	31	4	8			13	1	13
2	ハラスメント		4	22			12	1	12
3	感染症①（食中毒）	1	5	13			6	1	6
4	リスクマネジメント①		6	10			7	1	7
5	身体拘束①		7	8			6	1	6
6	レクリエーション		7	22			5	1	5
7	看取り①（基礎編）		8	19			7	1	7
8	感染症②（インフルエンザ・ノロウイルス）		9	9			7	1	7
9	褥瘡		10	21			9	1	9
10	医療知識①		11	11			8	1	8
11	リスクマネジメント②		12	10			9	1	9
12	医療知識②		12	23			8	1	8
13	身体拘束②	2	1	20			5	1	5
14	看取り②（応用編）		2	10			6	1	6
15	認知症		3	9			12	1	12
							120	15	120

（研修参加の状況）

外部研修については、ほぼ例年通り参加できていたが、年度末にかけて予定していた研修が新型コロナウイルスの関係で全て中止となってしまった。内部研修は、開催回数が減少したため参加者数が少なかった。

4. 実習生受け入れ状況

相談援助実習の受け入れは、新潟医療福祉大学と青陵大学の2校のみ。介護実習については、数年ぶりに専門学校からの依頼があった。毎年受け入れ可能数を多めに届け出ているが、現状は該当学生不在によるキャンセルがほとんどで、年間数名にとどまっている。2019年度は、地元中学校・高校からの依頼があり受け入れた。

【月別実習人数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実習人数	0	0	1	6	5	4	1	1	0	0	1	0	19
延べ日数	0	0	12	6	31	17	12	10	0	0	3	0	91

【種別】

実習名	人数	延べ日数	実習依頼校・団体
社会福祉援助技術現場実習	3	47	新潟医療福祉大学 新潟青陵大学
介護実習	3	25	新潟青陵大学 新潟医療福祉カレッジ
職場体験実習	2	2	白南中学校
白根高校インターンシップ	4	12	白根高校
新潟県新採用職員施設体験実習	2	2	新潟県
介護支援専門員実務研修見学実習	1	3	新潟県社会福祉協議会
計	15	91	

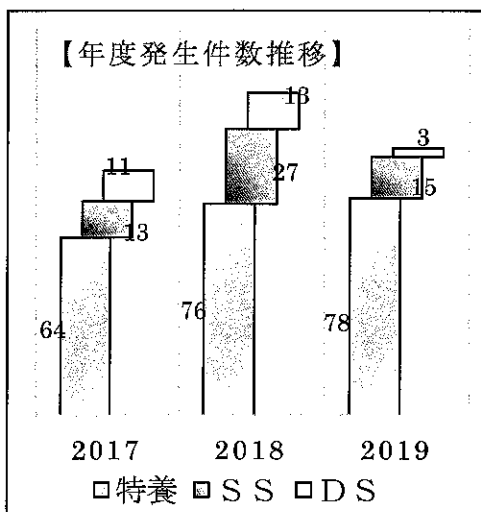
【年度別推移】

年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
延べ日数	113	107	118	75	82	91

5. 事故、苦情発生状況

(1) 事故状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	7	7	3	8	8	8	7	7	12	7	12	10	96



2019年度事故発生状況は前年度に比べ、全体数は減少したものの骨折等の重大事故は4件、そのうち3件は利用者自ら行動を起こした際に転倒、もう1件はリウマチのある利用者の介助中、いずれも新潟市へ報告を行った。

本年度から事故の種別を見直し、職員による介助ミスの項目を設けた。介助ミスの主な事故としては、爪切りの失敗等があげられる。その他の事故として表皮剥離の発見が多く、あらためて高齢者の皮膚の弱さを職員間で認識し、介助に努めてきた。

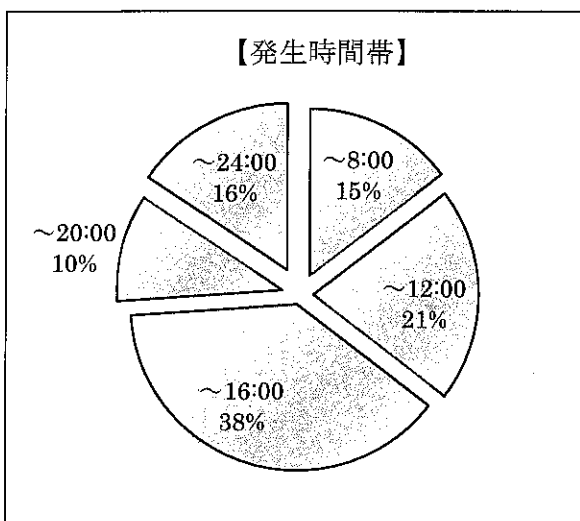
【事故別】

	特養	SS	DS	合計
転倒・転落	34	11	2	47
介助ミス	12	2	0	14
異食	5	0	0	5
誤薬	5	0	0	5
誤嚥	1	0	0	1
その他	21	2	1	72
合計	78	15	3	97

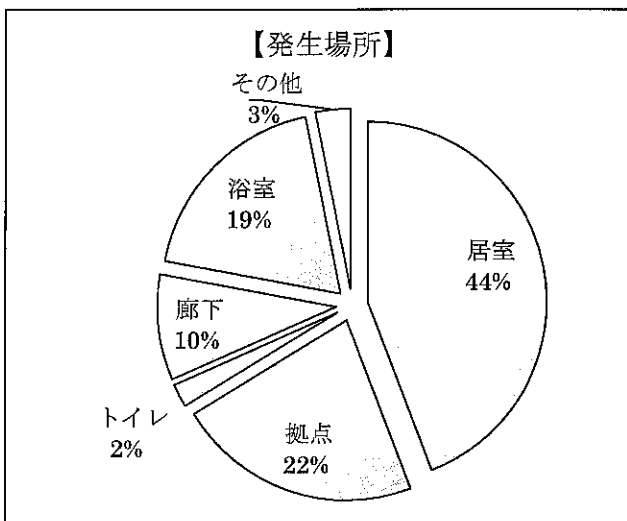
【受傷別】

	特養	SS	DS	合計
痛み	8	0	2	10
表皮剥離	17	1	0	18
切り傷・裂傷・擦傷	4	1	0	5
腫張	4	0	0	4
皮下出血	1	1	0	2
骨折	1	3	0	4
その他	8	3	0	11
異常なし	35	6	1	42
合計	78	15	3	86

【発生時間帯】



【発生場所】



(2) 苦情 (意見・要望等)

苦情 (意見・要望等) 受付状況は、合計 6 件と例年より少なかった。全て本人以外 (家族) からの申出だった。「職員の対応」が 4 件、いずれも説明不足や丁寧な対応ができなかったこと、ご家族の心情を理解した上での対応が不足していたことなどであった。「ケアの内容」は 2 件、利用者の衣類の乱れの指摘、目やになどの整容に関する指摘といったケアの基本となる部分であり、今一度振り返り、しっかりと丁寧な対応を心掛けたい。

【苦情受付状況】

	特養	SS	DS	居宅	他	合計
2019 年度	5	0	0	1	0	6
2018 年度	2	1	8	11	0	22
2017 年度	6	5	8	2	0	21
2016 年度	9	5	2	4	0	20

【苦情内容】

	特養	SS	DS	居宅	他	合計
職員の対応	3	0	0	1	0	4
ケアの内容	2	0	0	0	0	2
施設設備	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	0	0	0	1
合計	6	0	0	1	0	7

(1 件の申し出に複数の内容あり)

【申出人状況】

	特養	SS	DS	居宅	他	合計
本人	0	0	0	0	0	0
本人以外	5	0	0	1	0	6
その他	0	0	0	0	0	0
合計	5	0	0	1	0	6

6. ボランティア受け入れ状況

ボランティア来園回数は2018年度と変わらないものの、来園者数は3分の2に減少している。定期訪問のボランティアが高齢化しており、活動が難しくなっている。

また、インフルエンザ感染予防のための冬期間受け入れ中止や、新型コロナウイルスの影響も大きい。

その他、ボランティア交流会は例年通り実施することができた。

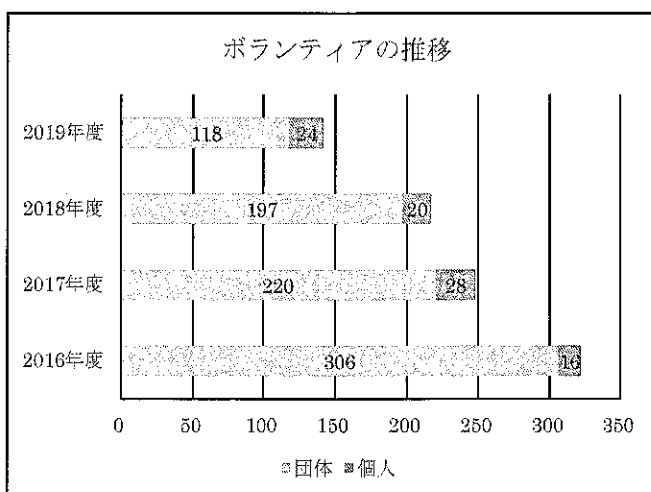
【来園ボランティア】

日付	ボランティア名	区分	人数	日付	ボランティア名	区分	人数		
H31	4月9日	滝沢文子様	個人	1	9月10日	滝沢文子様	個人	1	
	4月17日	ブルメリア様 (フラダンス)	団体	9	9月26日	折り鶴様	団体	6	
	4月20日	白根ローターアクトクラブ様	団体	7	10月7日	麗人会様	団体	4	
	4月25日	折り鶴様	団体	6	10月8日	滝沢文子様	個人	1	
	4月30日	富山スミエ様	個人	1	10月20日	堤 敏之様 (フルート演奏)	個人	1	
	R1	5月7日	仲良会様	団体	4	10月23日	和田洋子様	個人	1
		5月14日	滝沢文子様	個人	1	10月24日	折り鶴様	団体	6
		5月23日	折り鶴様	団体	6	10月30日	和田洋子様	個人	1
		5月28日	富山スミエ様	個人	1	11月4日	麗人会様	団体	3
		5月31日	南区マジック軍団様	団体	3	11月6日	和田洋子様	個人	1
		6月3日	麗人会様	団体	4	11月7日	仲良会様	団体	4
		6月11日	滝沢文子様	個人	1	11月12日	滝沢文子様	個人	1
		6月25日	富山スミエ様	個人	1	11月13日	和田洋子様	個人	1
		6月27日	折り鶴様	団体	7	12月2日	麗人会様	団体	3
		7月1日	麗人会様	団体	4	12月4日	和田洋子様	個人	1
		7月7日	肢体不自由児者父母の会様	団体	9	12月10日	滝沢文子様	個人	1
		7月9日	滝沢文子様	個人	1	12月10日	オカリナサークル虹様	団体	6
		7月22日	朱鷺の会様	団体	6	12月11日	和田洋子様	個人	1
		7月25日	折り鶴様	団体	6	12月16日	朱鷺の会様	団体	4
8月8日		滝沢文子様	個人	1	12月26日	折り鶴様	団体	5	
8月8日		サマーチャレンジボランティア (中学生)	個人	1	R2	1月15日	和田洋子様	個人	1
8月8日		学生ボランティア (高校生)	個人	1		1月29日	和田洋子様	個人	1
8月22日		折り鶴様	団体	6		2月12日	和田洋子様	個人	1

【月別ボランティア数（延べ人数）】

月	団体	個人	計
4月	22	2	24
5月	13	2	15
6月	11	2	13
7月	25	1	26
8月	6	3	9
9月	6	1	7
10月	10	4	14
11月	7	3	10
12月	18	3	21
1月	0	2	2
2月	0	1	1
3月	0	0	0
合計	118	24	142

【ボランティアの推移】



【家族介護者教室の実施状況（新潟市委託事業）】

開催/日時/会場	内容	参加数	職員数
令和元年 10月9日（水） 午後1時30分～午後3時30分 南区白根健康福祉センター第2研修室	「排泄ケアについて一緒に学んでみませんか」 講師：花王プロフェッショナル・サービス（株）様	8	6
令和元年 12月5日（木） 午後1時30分～午後3時30分 南区白根健康福祉センター第2研修室	「排泄ケアのお話 後編」 講師：花王プロフェッショナル・サービス（株）様	11	6
計		19	12

（家族介護者教室の実施状況）

2019年度は、在宅での「排泄ケア」をテーマに、外部講師（花王プロフェッショナルサービス株式会社 排泄ケア・アドバイザー2名）を招いて、排泄ケアにおける紙オムツの選び方や失敗しないオムツのあて方など、実演を交えて行った。